公 式 記 録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和6年度兵庫県高等学校サッカー新人大会 女子の部　決 勝 【 10 】

主審署名：吉永　真紀

日 時	2025 年 2 月 9 日（日） 13 ： 00 キックオフ			会 場	アスパ五色サブグラウンド		
天 候	晴れ	天然芝・人工芝・クレー		状 態	良好	試合形式	70 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有
運営責任者	笠原　弘樹	会場主任	吉田　陽一	記 録	黒田　達也 ／ 岡本　夕季	観 衆	143 人
主 審	吉永　真紀	副審1	西嶋　咲音	副審2	脇谷　咲花	第4の審判員	的崎　睦子

チーム名			チーム名 (kick off)
神戸弘陵学園高校	0	1	日ノ本学園高校
選手番号 ○× 先 / PK戦	0 前半 1 / 0 後半 0 / 延前 / 延後 / PK戦		PK戦 先 ○× / 選手番号

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					西村　佐笑子 2年	1	GK	GK	1	湯ノ口　愛佑菜 2年					分	
	分					岡田　紗香 1年	2	DF	DF	3	大塚　理紗子 2年					分	
	分			1		下条　真嬉 2年	5	DF	DF	4	中内　咲那 2年					分	
	分					吉村　弥華 2年	4	DF	DF	2	稲垣　蓮 2年					分	
	分					滝谷　明花莉 2年	8	DF	DF	8	細田　若那 1年					分	
	分					浦田　咲彩 2年	6	MF	MF	9	高橋　れある 2年					65 分	
	50 分				1	白井　梓 2年	7	MF	MF	14	中里　美咲 2年	1	1			分	
	分					横井　睦 2年	11	MF	MF	10	上田　妃茉里 2年					分	
	分				3	鈴木　梨花 2年	9	MF	MF	5	高橋　あすか 2年					65 分	
	分			2		山田　愛実 2年	10	MF	MF	7	木下　奈南 2年		2			分	
	分					古田　紗菜 1年	13	FW	FW	13	玉井　那奈 1年	1*	1			69 分	
	分					平井　心 1年	3	DF	DF	18	太田　遥香 2年					分	
	分					石田　春妃 1年	17	DF	MF	6	林　華衣 2年					分	
7	分			1		早瀬　由萌 1年	14	MF	MF	12	河村　茅那 1年					分	
	分					小西　心 1年	16	MF	MF	15	色川　瑚夏 1年					分	5
	分					瀧本　ひかり 1年	19	MF	MF	17	山口　真樹 1年					分	
	分					鶴岡　美紗 1年	20	FW	MF	19	今村　木虹 2年					分	
	分					年			MF	22	小山田　佳奏 1年					分	
	分					年			MF	26	川合　千暁 1年					分	9
	分					年			FW	11	坂東　麻耶 1年					分	13

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					8			4	4	シュート	2	4			6	分				
分					9			6	3	ＧＫ	5	3			8	分				
分					3			1	2	ＣＫ	0	3			3	分				
分					3			1	2	直接ＦＫ	4	0			4	分				
分					1			1	0	間接ＦＫ	1	0			1	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
11 分	日ノ本学園	13	玉井　那奈	0 － 1	左　10　→　中央　13　S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属 【 神戸／ 有馬 】　氏名 【 大垣／垣内 】

日ノ本学園のキックオフで始まった新人戦決勝戦。1-4-4-2の神戸弘陵、1-4-3-3の日ノ本の試合、序盤は日ノ本左サイド7木下の仕掛けからゴールのチャンスが多く見られた。神戸弘陵も両サイド10山田11横井の崩しから多くのシュートシーンが見られた。試合が動いたのは前半11分、日ノ本左サイド10上田のクロスに中央で13玉井が合わせシュートを放った、これがゴールネットを揺らし、この試合1点目となった。神戸弘陵も13古田からの日ノ本DFの背後へのパスに10山田が反応するが得点には繋がらず、スコアは動かないまま前半終了した。後半開始早々に神戸弘陵4吉村が日ノ本DFの背後へのパスに9鈴木がシュートシーンを作るが、日ノ本4中内の対応で守りきる。両者一進一退の試合展開であったが、日ノ本は後半終了間際の神戸弘陵の猛攻を防ぎ、前半の1点を守りぬき試合終了。2年ぶりに王座奪還した日ノ本に賛辞を送りたい。

［備 考］